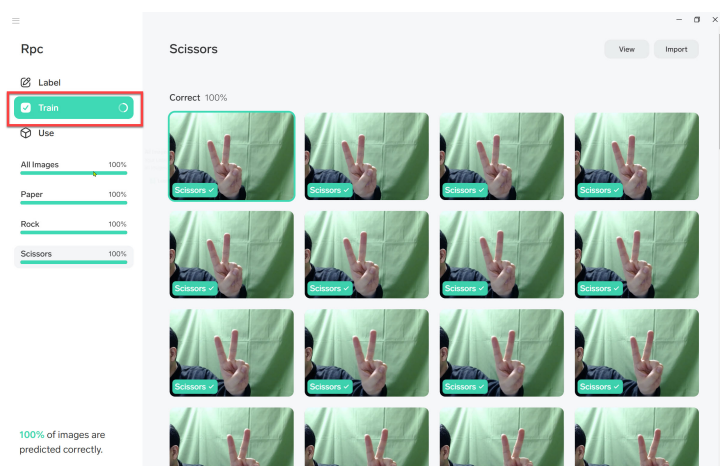


AIプログラミング体験 ～ 画像分類アプリを作成してみよう

ツールとアプリケーションのテンプレートを利用して、画像分類アプリケーションを作成してみます。画像分類とは、Webカメラで撮影した **画像** や保存済みの画像ファイルは何の画像であるかを予測する AI の機能です。

自分が学習させた画像をもとに、新しい画像を正しく分類できるかどうかを実際に体験してみます。この演習の範囲ではAIの知識やこれまでのプログラミング経験は不要です。AIでできることを体験してみます。

- **Lobe** という無償のツールで画像分類モデル (= 画像分類を行うAIエンジン) を作成
- 作成されたモデルのファイルをアプリケーションのテンプレート (ひな形) にコピーしてアプリケーションを実行



この教材を体験するにはプログラミング経験は不要です。

- Lobe はノンコーディング (プログラミングなし) の開発ツール
- アプリケーションのテンプレートはいくつかのファイルをコピーするだけで動作する状態

体験授業での演習は

1. **環境構築**
2. **Lobeで画像分類モデルを作成 (Webカメラを使用)**
3. **Lobeで画像分類モデルを作成 (事前に用意した画像ファイルを使用)**
4. **Lobeで画像分類を実行**
5. **画像分類アプリを実行**

体験授業ではすでに **環境構築** が完了しているかもしれません。
講師やスタッフの指示に従ってください。

画像分類モデルの作成は、使用するPCにあわせて二通り用意してあります。

- PCにWebカメラが接続されている場合は **Webカメラを使用** して進めます
- WebカメラなしのPCの場合は **事前に用意した画像ファイルを使って** 進めます

この演習は **OCA 大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校** の **2022年度オープンキャンパスでの体験学習** 教材として開発したものです。

同校の許可をいただき一般にも公開します。

AIの知識やプログラミング経験が少ない高校生を対象として想定してるため、お持ちのスキルによっては非常に簡単な内容かもしれません。

その点を理解した上でご利用ください。